

「おどる国文祭」プレイベント
第10回 徳島県民文化祭主催事業
分野別フェスティバル

第39回

邦楽大会

- と き／平成18年10月8日(日) 12時30分開演(12時開場)
- ところ／徳島市立文化センター 主催 徳島県邦楽協会・徳島県民文化祭開催委員会

ごあいさつ



徳島県邦楽協会会長

春 名 完 二

来年平成十九年に国民文化祭が徳島県で開催されます。その中、分野別フェスティバルの「邦楽の祭典」は徳島市で開かれ、その運営には徳島県邦楽協会が当たります。従って本年度の県民文化祭分野別フェスティバル第三十九回邦楽大会はプレ国民文化祭と名づけて行われます。来年度の邦楽大会は国民文化祭に全力を傾注するため県民文化祭は中止となることに決定しました。

国民文化祭は昭和六十一年第一回東京都大会を皮切りに毎年各都道府県持ち回りで開催されていて国民文化祭事業のうち、分野別フェスティバルの中の「邦楽の祭典」には、わが邦楽協会は第七回石川県大会から、少し離れて第十二回香川県から今年の第二十一回山口県まで毎年参加、^{いよ}々来年第二十二回徳島県大会となります。

他府県の場合、邦楽協会は三曲部会が主体で結成され、本県の邦楽協会のように謡曲、長唄、三曲、琵琶、義太夫、吟詠などから端唄、俗曲まで十部から結成されているというのは、他府県に類を見ない特色であります。従って国民文化祭は本県で行われるのだから徳島らしさ、テーマも含めて組織の特色性を出すよう企画する所存です。本年の邦楽大会はプレ国民文化祭として、充分に主旨にそわなくとも、それにより近く雰囲気を出せればと願っております。故、何卒ご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

祝 辞



徳島県知事

飯 泉 嘉 門

このたび、第三十九回徳島県邦楽大会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。また、本大会の開催に向けて、多大なご尽力をいただきました徳島県邦楽協会の皆様に、深く敬意を表する次第でございます。

長い歴史と風土によって育まれた文化を継承・発展させることは、私たちの生活に潤いや誇りをもたらし、特色ある地域文化の創造に大きく資するものであり、本日ここに、邦楽を愛好する皆様が集い、日ごろの練習の成果を発表されますことは、本県の芸術文化活動の振興を図っていく上におきましても、大変意義深いことでございます。

県といたしましても、昨年度、今後の文化振興の具体的な取り組みの方向を定める指針として「徳島県文化振興基本方針」を策定するなど、「文化立県とくしま」の実現を目指し、様々な施策を展開しているところでございます。

こうした中、いよいよ平成十九年秋には、我が国最大級の文化の祭典、「第二十二回国民文化祭・とくしま二〇〇七『おどる国文祭』」が本県で開催されます。そのプレの年に当たります今年には、本邦楽大会をはじめとする様々な行事が「おどる国文祭・プレイベント」として登録され、さらには、我が国の第一線で活躍されている著明文化人の皆様が、「天水」というテーマのもと、徳島の「文化」を切り口に、講演、ワークショップ、パフォーマンス等の多彩な催しを繰り広げる「第二十八回日本文化デザイン会議'06(ゼロロク)イン徳島」が、四国で初めて開催されるなど国民文化祭に向けた気運の高まりが大いに期待されているところであります。

邦楽協会の皆様におかれましては、本大会における見事な演奏や名演技の数々を通して、観客の皆様々に伝統芸能の魅力をお伝えいただけますとともに、本県の文化振興に対する一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びといたしまして、徳島県邦楽協会の更なるご発展と、会員の皆様のお健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成十八年十月

N司
H會
K會
秋
山
千
鶴

1 謠 曲 (喜多流喜陽會)

仕舞
月宮殿 (鶴 龜)

シテ 狩野直喜

地謠
西條泰彦 石田秀憲 萩野拓郎 木下徹子 山本淳子 桑原千寿子

中野広二 天野義雄 吉田文明

2 琵琶 (錦心流 琵琶 欽水會)

永田 錦心作曲

羽衣

伯龍芝原正水 天女貝出玲水

石垣 征山 作曲

深みどり

一 箏

内田 道子 一尺八 濱野 羊山 二尺八 飯藤 方山

今倉 千恵 村上 聖山 原郷 恵山

宮岡 量子 鈴江 湧山 杉口 珖山

真島貴巳子 山上 明山 七條 峰山

二 箏

原田 陽子 渡辺 藍山 松田 太山

武知 陸子 吉岡 萃山 貝出 光山

高井 祥子 藤井 介山 高橋 侶山

天羽 悦子

十七 絃

澤村 美紀

三 絃

内田 隆章

菊香華堯子

山本欣志子

藤井 萌如

“阿波よしこの”のルーツをたずねて

潮来出島

唄

杵屋 佐田篠
杵屋 佐伴苗

牛深ハイヤ

三味線

杵屋 佐篠
杵屋 佐矢篠

よしこの

杵屋 佐栄篠
杵屋 佐佳篠
杵屋 佐世篠
杵屋 佐壺篠
杵屋 佐篠恵
杵屋 佐洋篠
杵屋 佐津伴

壇の浦

琵琶語
琵琶郡

旭水
草水

唄 (古都和会)
三代目杵屋正治郎 作曲

元禄花見踊

(舞台面)

三味線

三味線

湯浅真知子

濱田多映子

松永 and 世美

松永和世豊

松永和世博

渡川恵都風

濱田 暖

箏

安田古都子

万石都節風

新居 夕公

時松 愛子

吉崎 夕華

森崎 節子

松永和世繁

尺八

沖野 道代

山上 明山

橋本千代子

多喜田聖子

山本 幸枝

宮武 浩子

津田 幸

広木 幸子

曲 (箏曲雅伎会・箏曲あきら会・徳島箏曲スタジオ・都山流尺八楽会徳島県支部)
宮田耕八郎 作曲

豊年太鼓

箏

藤川	高坂	石原	黒木	野々村	福永	熊谷	藤本	小郷	美馬	平岡	勝瀬	野々宮	仁木	井上	佐野	桑原	広瀬	白浜	
大記	知世	栄子	登代美	雅楽彩	雅豊	雅奈	雅登伎	宰	欣子	香織	涼香	凡枝	輝子	京子	篤子	順子	都正伎	雅伎	
															尺八	太鼓		十七絃	
							川原	村上	藤本	石光	藤本	三好	高橋	西尾	阿部	山本	高橋	中村	成川
							有紀	俊樹	眉優	眉雍	眉揚	洋山	泰山	関山	山	眉山	政市	雅樂晶	雅富美

8 三

曲 (八綾乃会)

菊岡 檢校 作曲

笹の露

三絃 多田英治
箏 佐藤広崇
尺八 山上明山

9 吟

詠 (吟詠鶯風流)

本宮 三香 作

小楠公の母を詠ず

吟

野村栄鶯
阿部欣風
山形弘風
春藤素風
阿部萬風
尺八 市原善鶯

10 吟

詠 (乃木流吟剣詩舞道徳島県本部)

● 詩 舞

大槻 磐溪 作

春日山懐古

吟詠 金澤典笙
詩舞 西條静綜

● 歌謡吟詠

瓜生田山桜 作

古城

吟 唄
西條典綜

曲 (都山流尺八樂会徳島県支部・日本当道音楽会所属箏曲古都和会)
森岡 章 作曲

四重協奏曲・阿波

尺八

第一箏

独奏
一部

山上明山

猪井惠朱

濱野羊山

新居夕公

村上聖山

宮武古都浩

渡辺藍山

第二箏
安田古都子

大久保宴山

津田幸風

市原紳山

広木都乃風

原郷恵山

多喜田聖風

伊丹千山

十七絃
吉崎夕華

松田太山

独奏
山上朋代

貝出光山

三絃本手
山古都風

高橋侶山

仁木古都風

市原明星

替手
人見繁子

市原明星

多田英治

月の船

野村 正峰 作曲

曲 (竹保流尺八徳島風の会)

尺八

佃	岡	大	中	畑	兼	板	清	西	浜
	田	西	田		松	谷	水	野	井
伸	英	竹	笏	笙	劉	崇	露	笙	弘
一	規	友	保	保	保	保	保	保	保

					三	十七		第二	第一
					絃	絃		箏	箏
					白	室	桑	吉	猪
					田		原	崎	井
					智	志	登	夕	惠
					子	津	志	華	朱
						代	子		

宮城 道雄 編曲
曲 (当道音楽会徳島中支部・都山流尺八楽会徳島県支部)

八千代獅子編曲

三絃	菊華	茂美	尺八	篠原	瑞山
第一箏	菊木代	雅美	鈴江	湧山	
第二箏	菊村	弘子	折原	佐山	
	菊弘	敏子	吉岡	翠山	
	菊布	喜代子	堤	学山	
	菊島	由理	高橋	侶山	
十七絃	菊島	保			

唄 (春松会)

十世杵屋六左衛門 作曲

秋の色種

三味線

唄

(舞台面)

上調子
松 永 和三佳
松 永 和三美
逢坂 朝美
松 永 和三雄
松 永 和三治
松 永 和三依
大久保 純子
松 永 和三彩

鳥山京子	浅香山穂	橘公	松永	稀音家
	尺八	尺八	和四季	四郎乃
	浜井弘保	猪井恵朱		

徳島県邦楽協会役員

役職名	氏名	所属団体名	連絡先	電話
会長	春名 完二	徳島市南二軒屋町二丁目二一五五		六二五―三二六一
副会長	天野 義雄	鳴門市撫養町斎田字岩崎九九		六八六―〇三二八
	大櫛 亜童	琴古流尺八竹友社		六五二―九〇五六
	杵屋 佐篠	徳島市南内町一―一六		六五三―一六四七
	椎野 瑞城	徳島市八万町大坪一三三		六六八―〇〇二九
部長	浜野 羊山	都山流尺八楽会 徳島県支部	阿南市日開野町谷田四八九―一二	〇八八四―三二五五九三
	杵家 弥代弘	杵家会徳島支部	徳島市助任橋四丁目八―一 朝日プラザ二〇五号	六五三―五九五八
	内田 華水	錦心流琵琶欽水会	徳島市末広四丁目五―二四―一	六二二―〇五一三
	八木 瑞堂	揚心流日本朗詠会	徳島市徳島町城内六―八八	六五二―五五五九
常任理事	野崎 瑞鳳	瑞鳳流日本吟詠会	徳島市一番町一丁目一〇	六二二―二二七七
	澤田 青葉	葉風会徳島支部	徳島市富田橋四丁目五六―一	六五三―一五五〇
	浅香 寿穂	長唄春松会	徳島市中吉野町三丁目七六一―三	六二二―六三八九
	内田 道子	宮城会内田社中	吉野川市川島町 春日北七三三―一	〇八八三―二五―二九四四
	大西 晴一二	琴古流尺八美風会 徳島支部	小松島市小松島町 字房浜七五―三	〇八八五―三二―〇〇四一
	長田 岳心	岳心流吟詠会	徳島市国府町桜間字万の内五四	六四二―二二八〇
	宮岡 和光	和光流東山吟詠会	徳島市北常三島町二―三	六二二―〇〇七四
	荒瀬 龍鳳	青雲流日本吟詠会	阿南市富岡町新開地	〇八八四―二二―〇三三八
	原郷 恵山	都山流尺八楽会 徳島県支部	徳島市西須賀町西開一〇―一九	六六九―〇二五一
	矢島 惜季春	日本当道音楽会所属	小松島市金磯町九―九八	〇八八五―三二―三一八七
	藤本 雅登伎	徳島箏曲スタジオ	徳島市中洲町一丁目五〇―一二	六二五―二〇三二
	西條 典綜	乃木流吟剣詩舞道 徳島県本部	板野郡上板町鍛冶屋原 字西北原三一―六	六九二―二四一二
事務局長	浜井 弘保	竹保流尺八 徳島県支部	徳島市南昭和町四丁目七六一―一六	六五四―六〇七〇
事務局次長	猪井 恵朱	日本当道音楽会所属	吉野川市鴨島町 牛島一二七五―一	〇八八三―二四―二五六九
事務局	室 志津代	正 絃 社	鳴門市撫養町立岩字四枚七〇	六八五―一五四〇七
	稀音家 治乃	稀音家会	板野郡北島町鯛ノ浜字向八六一―二	六九八―一―一四四
	三木 千佳子	東音会	徳島市中常三島町二―一五	六五二―五九七八
	杵屋 佐伴苗	玄の会	小松島市小松島町 字外開二三―一一	〇八八五―三二―七二二三
監事	松永 和世幸	古都和会	阿南市那賀川町芳崎四五〇―一	〇八八四―四二―〇八〇一
	工藤 旭城	筑前琵琶旭城会	徳島市城東町二丁目二―三一六	六二二―三六四七